

〈2015年9月・2016年4月入学〉

早稲田大学大学院
環境・エネルギー研究科

修士課程 一般入学試験要項
(飛び級入学試験を含む)

個人情報の取り扱いについて

当学では、志願時に収集した個人情報(住所・氏名・生年月日等)を、入学試験実施、合格者発表、入学手続およびこれに附随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。なお、個人が特定されないように統計処理した個人情報を、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。あらかじめご了承ください。

目 次

出願要領	2
1. 募集人員	2
2. 募集研究指導と授与学位	2
3. 入学の時期	2
4. 出願資格	2
5. 出願期間	3
6. 出願書類	3
7. 出願方法	5
8. 入学検定料	6
9. 入学検定料の支払い方法	6
10. 受験票の送付	7
11. 出願上の注意事項	7
受験要領	7
1. 選考方法・試験期日・選考科目	7
2. 第1次試験	7
3. 試験時間割	8
4. 試験場	8
5. 受験上の注意事項	8
合格者発表	9
1. 合格者発表	9
入学手続要領	9
1. 入学手続期間	9
2. 入学手続に必要な書類	10
3. 学費等(参考)	10
奨学金制度	11
研究指導および担当教員	12
試験場案内	15

添付資料

- ・ 早稲田大学入学試験受験に際しての注意事項

出願要領

1. 募集人員

2015年9月入学
2016年4月入学

若干名(※「飛び級入学」を含む)
50名(定員)(※「飛び級入学」を含む)

※ 大学に3年以上在学する者に係わる特別選抜制度

2. 募集研究指導と授与学位

募集する研究指導は以下のとおりです。

研究指導	指導教員	授与学位
環境政策科学研究	教授 吉田 徳久	学術
環境・新エネルギー研究	教授 勝田 正文	工学・学術
環境調和システム機器研究	教授 関谷 弘志	工学・学術
エネルギー・環境政策研究	教授 友成 真一	学術
環境・エネルギーネットワーク研究	教授 中西 要祐	工学・学術
環境・パワーシステム研究	教授 草鹿 仁	工学・学術
環境・エクセルギー工学研究	教授 中垣 隆雄	工学・学術
環境システム評価研究	教授 納富 信	工学・学術
環境・電気エネルギー研究	教授 紙屋 雄史	工学・学術
環境配慮エネルギー・循環システム研究	准教授 小野田 弘士	工学・学術
環境・エンジン制御研究	兼任講師 福間 隆雄 本学教授・上級研究員	工学

3. 入学の時期

2015年9月 または 2016年4月

4. 出願資格

次の①～⑥いずれかの要件を満たす者。ただし、各要件とも、2015年9月入学志願者は2015年9月20日まで、2016年4月入学志願者は2016年3月末日までの卒業見込者を含みます。

- ① 大学を卒業した者、および卒業見込みの者。
- ② 大学評価・学位授与機構により、学士の学位を授与された者、および授与される見込みのある者。
- ③ 外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者、および修了見込みの者。
- ④ 文部科学大臣の指定した者。
- ⑤ 大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了、または修了見込みの者で、当研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者。(飛び級入試対象者:注1)
- ⑥ 当研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に22歳に達する者。

注1:「所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者」とは、2年終了時に卒業必要単位の1/2以上を修得し、修得単位の2/3以上が最上級(100点満点中90点以上)の評価であり、かつ3年終了時に卒業必要単位の

3/4以上を取得見込みの者であって、研究科の定める条件を満たした者とします。なお、3年終了時に上記の基準が達成できていない場合には、合格を取り消します。

※⑤、⑥の出願資格の確認を希望する方は、出願期間初日の2ヶ月前までに、当研究科入試係に連絡してください。
(weee-ent@list.waseda.jp)
事前連絡がない場合、出願は認められません。

※当研究科が実施する各試験制度を併願することの可否については、当研究科入試係へ問い合わせてください。

5. 出願期間

2015年6月10日(水)～6月16日(火) (消印有効)

6. 出願書類

Word文書として入力後、印刷して提出してください。手書きで提出する場合は、黒のペンまたはボールペンを使用してください。文字は楷書、数字は算用数字で記入してください。

①志願票:所定用紙

- 志願する入試区分の欄にチェックを入れてください。
- *受験番号の箇所には記入しないでください。
- 指導教員の受入可能学生数には上限があります。希望指導教員欄には12～14ページを参照のうえ、<記入例>のように**希望順を算用数字で、8位まで必ず記入**してください(9位以降の記入は任意です)。

<記入例>

希望指導教員

希望順	研究指導	担当教員
1	環境政策科学研究	吉田
2	環境・新エネルギー研究	勝田
3	環境調和システム機器研究	関谷
4	エネルギー・環境政策研究	友成
5	環境・エネルギーネットワーク研究	中西
6	環境・パワーシステム研究	草鹿
7	環境・エクセルギー工学研究	中垣
8	環境システム評価研究	納富
9	環境・電気エネルギー研究	紙屋
10	環境配慮エネルギー・循環システム研究	小野田
11	環境・エンジン制御研究	福間・草鹿

- 「TOEFLまたはTOEICのスコアカード」には、4ページの「TOEFLまたはTOEICのスコアカード」を確認のうえ、該当するものに✓を記入してください。
・スコアカードを提出する場合には「提出するスコアカード(コード)」と「提出するスコアカード」の点数も記入してください。

提出するスコアカード(コード)

	TOEIC	TOEIC-IP※	TOEFL-iBT	TOEFL-PBT
コード	1	2	3	4

※TOEIC-IPは当学基幹・創造・先進理工学部で英語授業の一環として実施したものに限定されます。

- e. 写真は、縦4cm×横3cm(枠なし)で、願書受付日前3ヶ月以内に撮影したカラー写真とします。上半身・正面・無帽・無背景で、眼鏡の有無・髪型等試験場において間違われるような写真は不可とします。裏面に氏名を記入の上、貼付してください。また、入学手続の際、同じ写真が3枚必要になりますので、ネガ等を保存しておいてください。
- f. コンビニエンスストアで入学検定料を振り込んだ場合は、「入学検定料収納証明書」を所定欄に貼付してください。クレジットカードで支払った場合は、決済完了が表示されたWebページを印刷し、「写真票・入学検定料収納証明書」にクリップ留めして提出してください。

②履歴書: 所定用紙

- a. 学歴欄は、小学校から現在までの全ての学歴(科目等履修生も含む)を記入してください。記入欄が足りない場合は、学歴のみ別紙に記入して志願票と一緒に提出してください。
- b. 現住所欄に記載された住所宛に、受験票、合格者受験番号表、入学手続書類等を郵送しますので、必ず受け取ることのできる住所を正確に記入してください。
- c. 職歴欄は、現職の記入以外にも過去に職歴がある場合は、その概要を特記事項の欄に記載してください。

③各種証明書(原本)

- a. 大学を卒業した方は卒業証明書(卒業見込みの方は卒業見込証明書)および成績証明書(原本) ※出願時に卒業見込証明書を提出した場合は、卒業後ただちに卒業証明書を提出してください。 ※編入している方は、編入学前の成績証明書も提出してください。
- b. 外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した方は、修了証明書(修了見込みの者は修了見込証明書)および成績証明書(原本)。 ※中国の大学を卒業した出願者は卒業証明書(原本)、学位取得証明書(原本)および卒業証書のコピーを提出してください。 ※証明書は日本語または英語で書かれたものを提出してください。日本語または英語で発行できない場合は、翻訳文(英語または日本語)を作成し、翻訳文の内容が正しいことを証明する公証書(原本)とあわせて提出してください。
- c. 飛び級入学試験志願者は、在学証明書および成績証明書、科目登録書、当研究科発行の受験許可書

④修士課程入試面接票: 所定用紙

学部のとぎに取り組んだ研究や志望理由、入学後の研究計画の概要等を記入してください。

⑤受験承諾書: 所定用紙

出願時に他大学の研究科または当学の他研究科に正規学生として在籍している場合は提出してください。

⑥アンケート: 所定用紙

今後の入試広報等の参考にさせていただきますので、必ず提出してください。なお、このアンケートは入学選考の対象外です。

(該当者のみ提出する書類)

⑦TOEFL または TOEIC スコアカード

下記の条件を満たすスコアカードを出願時に提出した場合、英語の筆記試験は免除されます。スコアカードを提出しない場合、または提出したスコアカードが条件に満たない場合は試験当日に英語の筆記試験を受験することになります。

- a. 2013年6月10日以降に受験したスコアカードのみ有効です。
- b. 最低点は以下の通りとします。

TOEIC, TOEIC-IP*	600点/990点満点
TOEFL-iBT	63点/120点満点
TOEFL-PBT	505点/677点満点

*TOEIC-IP は当学基幹・創造・先進理工学部で英語の授業の一環として実施されたものに限定されま

す。
提出できるスコアカードの種類は TOEIC、TOEIC-IP、TOEFL-iBT、TOEFL-PBT のみです。

(※TOEIC SW、TOEIC Bridge、TOEFL IPT 等は不可です。)

- c. 原本、または A4 サイズでコピーされたものを提出してください。
- d. 提出されたスコアカードは返却しません。
- e. TOEIC 等を受験済みで、かつ出願期間にスコアカードが提出できない場合には志願票の「TOEFL また

はTOEICスコアカード」の「2 後日(2015年6月26日(金)12:00提出締切)提出」に☑を記入し、「提出するスコアカード(コード)」に3ページ記載のコードと「提出するスコアカードの点数」を記入してください。(スコアカードの点数が不明の場合は空欄としてください。)

スコアカードの追加提出は2015年6月26日(金)12:00までとし、添付メールにてweee-ent@list.waseda.jp宛に提出してください。メールの件名は「英語スコア追加送付」としてください。この日までに提出できない場合には英語の筆記試験を受験することになります。

外国籍の方は以下も提出してください

⑧日本語能力試験または日本留学試験「日本語」の成績通知書のコピー

(次のうちいずれかひとつ。過去のものでも良い。コピー可)

- a.日本語能力試験1級(またはN1)の成績証明書
- b.日本語能力試験2級(またはN2)の合格証明書
- c.日本留学試験「日本語」の成績通知書

※ただし、上記試験を受験できなかった場合は、大学およびその他の日本語教育機関による、日本語能力に関する証明書を提出してください。

⑨留学にかかる経費負担計画書:所定用紙

※ただし、日本に永住権のある場合は不要です。

※正規の課程の年限にわたって奨学金給付が見込まれる奨学生の場合は、それを証する書類を提出すること。

⑩住民票の原本または在留カード(表・裏両面)のコピー

※住民票を提出する場合、必ず「国籍」「在留資格」「在留期間」「在留期間満了日」「在留カード等番号」が記載された住民票を提出して下さい。

次の所定用紙は「環境・エネルギー研究科入試要項・様式ダウンロードページ」
<http://www.waseda.jp/weee/exam/application.html> からダウンロードしてください。

- ①志願票
- ②履歴書
- ④修士課程入試面接票
- ⑤受験承諾書(当学他研究科あるいは他大学大学院在学学生の場合)
- ⑥入試アンケート
- ⑧留学にかかる経費負担計画書

※Wordで作成する場合は、書式を崩したりページを増やしたりしないでください。
記載事項がない場合でも、項目を消さないでください。

7. 出願方法

※出願前に必ず当研究科入試係に出願する旨をメール(weee-ent@list.waseda.jp)で連絡してください。

- ①出願はすべて郵送に限ります。消印有効とし、期間中の消印のない願書は一切受け付けません。
- ②海外からの出願はできません。
- ③市販の角2号封筒(A4判が折らずに入る大きさ)を使用し、「簡易書留郵便」で郵送してください。また出願締切日が間近な時は、「簡易書留郵便・速達便」で郵送してください。
- ④送付する封筒の表面に「修士一般入試願書在中」と朱書してください。
- ⑤出願書類受理証明書等は発行しません。出願書類が大学に到着しているかどうかは、各自、郵便局引受番号等で確認してください。
- ⑥直接持参は受け付けません。

《出願書類郵送先》

〒367-0035
埼玉県本庄市西富田1011
早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 入試係

8. 入学検定料

35,000円

- ① 出願に際して検定料35,000円の納入が必要となります。
- ② 検定料の納入は、出願前に必ず行ってください。検定料を納入していない方の出願は受け付けません。

9. 入学検定料の支払い方法

納入期間は以下のとおりです。

2015年6月10日(水)～2015年6月16日(火)

① コンビニエンスストアでの支払い

- ・入学検定料は最寄りのコンビニエンスストアで支払ってください。
 - ・コンビニエンスストアでの支払いに際しては、事前にパソコンもしくは携帯電話よりインターネット上の「入学検定料コンビニ支払いサイト」(<https://e-shiharai.net/>)にアクセスをして所定の申込手続を完了させる必要があります。
 - ・支払い終了後、『入学検定料・選考料取扱明細書』の「収納証明書」部分を切り取り、『入学志願票』の所定欄に貼り付けて提出してください。詳細は「コンビニエンスストアでの検定料払込方法」(http://www.waseda.jp/weee/exam/pdf2015/convenience%20store%20Easy%20pay%20systems_20140401.pdf)を確認してください。
 - ・支払いは、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。ただし、納入期間最終日の「Webサイトでの申込」は23:00まで、コンビニエンスストア店頭での支払手続は23:30までとなりますので注意してください。
- ※家族・知人が代理で手続をする場合でも、必ず志願者本人の情報を入力するようにしてください。
※コンビニエンスストアでの支払いが困難な方は、事前に当研究科まで連絡してください。

② クレジットカード決済による支払い

- ・クレジットカード・中国オンライン決済での支払いに際しては、パソコンより「インターネット上の支払いサイト」(<https://e-shiharai.net/card/>)にアクセスをして所定申込手続を完了させる必要があります。
 - 支払い終了後、決済完了が表示されたWebページを印刷し、「写真票・入学検定料収納証明書」にクリップ留めて提出してください。詳細は「クレジットカード・銀聯カード・アリペイでの検定料支払方法」(http://www.waseda.jp/weee/exam/pdf2015/exam%20fee%20payment%20by%20credit%20card_20140401.pdf)を確認してください。
- ※支払いは、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。
※支払いに使用するカードは志願者本人以外の名義でも構いません。ただし、家族・知人が代理で手続をする場合でも、「基本情報」には必ず志願者本人の情報を記入するようにしてください。

10. 受験票の送付

- ① 願書類受理後、履歴書に記載された志願者の現住所宛に郵送します。
- ② 受験票に記載されている内容に誤りがある場合は、直ちに当研究科入試係にお問い合わせください。
- ③ 試験日1週間前になっても受験票が届かない場合は、当研究科入試係にお問い合わせください。

11. 出願上の注意事項

- ① 一度受理した書類およびお支払いいただいた入学検定料は、原則として返還いたしません。ただし、下記のケースに該当する場合は、入学検定料に限り全額または超過分を返還いたします。該当する方は当研究科入試係までご連絡ください。
 - 1) 入学検定料を所定額より多く支払った。
 - 2) 入学検定料を支払ったが、出願書類は提出しなかった。
 - 3) 入学検定料を支払ったが、出願締切後に出願書類を提出した。
 - 4) 入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった。なお、クレジットカードにより入学検定料を納入された場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。
- ② 出願書類に不備があった場合は、出願を受け付けられないことがあります。不備について当研究科から連絡があったときは、速やかにその指示に従ってください。
- ③ 身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち必ず当研究科入試係までお問い合わせください。また、大きな病気やけがのため、受験に支障をきたす恐れがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合でも、速やかにお問い合わせください。
- ④ 出願の際に当学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。

受験要領

1. 選考方法・試験期日・選考科目

- ① 第1次試験(筆記)と第2次試験(面接)により選考します。
- ② 第1次試験**受験者全員**が第2次試験に進みます。
- ③ 合格者発表は、履歴書に記載された現住所宛に「合格者受験番号表」を郵送します。

第1次試験(筆記)	第2次試験(面接)	
試験日	試験日	合格者発表
7月5日(日)	7月19日(日)	7月21日(火) 郵送

2. 第1次試験

第1次試験は、外国語と専門科目の筆記試験を実施します。

- ① **英語**(スコアカードを提出していない志願者のみ受験※)
英語の辞書(二国語辞書 例えば、英和、英中、英韓辞書等。和英、中英、韓英等の辞書ならびにこれらの項目が付いた辞書は使用禁止)のみ1冊の持ち込みを許可します。ただし電子辞書の使用は不可とします。

②専門科目(志願者全員が受験)

- ・3科目6題を出題します。6題の中から自由に2題を選択してください。文系出身者が(1)工業熱学または(2)電磁気学・回路理論を、理系出身者が(3)環境・エネルギー政策を選択しても構いません。
- ・(1)工業熱学または(2)電磁気学・回路理論を選択するときは、関数計算ができる電卓を使用できます。持参してください。ただし、プログラム機能のある電卓は、プログラムを消去してください。プログラムを消去していない場合は使用不可とします。

科目	出題範囲・内容
(1)工業熱学 (主に理系出身者用)	熱力学の第一法則と第二法則、各種熱力学サイクル、定常流れ系のエネルギー・エクセルギーバランス、蒸気・伝熱の基礎
(2)電磁気学・回路理論 (主に理系出身者用)	電界、磁界、電磁誘導、Maxwell方程式、直流回路、交流回路、分布定数回路、回路の過渡現象
(3)環境・エネルギー政策 (主に文系出身者用)	環境施策、資源リサイクル、エネルギー情勢、企業の環境経営等に係る出題されたテーマについて論述する

3. 試験時間割

第1次試験(筆記)		第2次試験
英語	専門科目	面接
10:00~11:30※	13:00~15:00	第1次試験当日に通知します

※スコアカードを提出していない志願者のみ受験

4~5 ページに記載されているスコアカードを提出していない志願者のみ受験します。4~5 ページに記載のスコアカードを提出期限までに提出した志願者は、午後からの受験となります。(英語試験の有無は受験票にて通知します。)

4. 試験場

- ① 第1次・第2次試験とも26号館大隈記念タワー(早稲田キャンパス)で実施予定です(15ページ「案内図」参照)。
- ② 試験教室(第1次・第2次試験とも)ならびに注意事項は、試験当日、会場に掲出します。

5. 受験上の注意事項

- ① 試験場には、受験票、筆記用具、英語の辞書、電卓を持参してください。電卓については、キーを押下すると音が鳴る場合は他の受験生の迷惑となりますので、事前に音を消しておいてください。
- ② 英語の試験では、二国語辞書(例えば、英和、英中、英韓辞書等。和英、中英、韓英等の辞書ならびにこれらの項目が付いた辞書は使用禁止)のみ1冊の持ち込みを許可します。ただし電子辞書の使用は不可とします。
- ③ 試験開始20分経過後の試験室への入場は一切認めません。
- ④ 欠席科目があった場合は、合否判定の対象外となります。

合格者発表

1. 合格者発表

- ① 7月21日(火)に、受験者全員に対して、履歴書に記載された本人現住所宛に「合格者受験番号表」を郵送します。
- ② 合格者には、『入学手續期間確認書』を送付します。所定事項を記入の上、返送してください。
- ③ 7月末日までに、合格者受験番号表が到着しない場合には、当研究科入試係まで問い合わせてください。
- ④ 2015年9月入学合格者は2015年9月21日から、また2016年4月入学合格者には2016年4月1日の入学を許可します。ただし、それぞれの入学日までに入学資格を取得した方に限ります。

入学手續要領

以下は予定です。正式には合格者に郵送(交付)される入学手續書類に従ってください。

1. 入学手續期間

2015年9月入学

入学手續書類交付	2015年7月21日(火)
入学手續期間	2015年8月24日(月)～ 8月26日(水) (消印有効)

2016年4月入学

入学手續書類交付	2015年11月中旬頃
入学手續期間	2015年12月7日(月)～ 12月9日(水) (消印有効)

- ① 入学手續書類の提出はすべて郵送に限ります。期間外の書類は受け付けません。
- ② 市販の角2号封筒(A4判が折らずに入る大きさ)を使用し、「簡易書留郵便」で郵送してください。また手續締切日が間近な時は、「簡易書留郵便・速達便」で郵送してください。
- ③ 送付する封筒の表面に「**修士一般入試・入学手續書類在中**」と朱書してください。
- ④ 手續書類受理証明書等は発行しません。手續書類が大学に到着しているかどうかは、各自、郵便局引受番号等で確認してください。
- ⑤ 直接持参は受け付けません。
- ⑥ 外国学生の手続完了者には、「入学許可書」を郵送します。

《手續書類郵送先》

〒367-0035 埼玉県本庄市西富田1011 早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 入試係

2. 入学手続に必要な書類

① 当研究科が交付する書類

- a. 『誓約書・保証書』兼 『個人情報の取扱いに関する同意書』(本人・保証人とも自筆のこと)
- b. 早稲田大学 入学手続用紙
- c. 学生カード2枚
- d. 学生証用写真カード
- e. 預金口座振替依頼書・自動振込利用申込書
- f. 学費等振込用紙発行願
- g. 住民票記載事項証明書もしくは住民票
 ※**外国籍**の方は「国籍」「在留資格」「在留期間」「在留期間満了日」「在留カード等番号」が記載された**住民票**を提出してください。

② 卒業証明書ならびに成績証明書

③ カラー写真3枚(志願票に貼付した写真と同一の写真)

④ 学費等振込領収書のコピー

※所定の学費振込用紙に所要事項を記入のうえ、ゆうちょ銀行を除く銀行窓口から納入してください。

3. 学費等(参考)

当研究科修士課程(2015年4月入学者)の入学手続に必要な入学金、学費、諸会費等は、以下のとおりです。2016年度の学費等は、確定後、直ちに研究科ホームページに掲載します。

【参考】2015年4月入学者の初年度学費明細

(単位:円)

入学金	授業料		実験演習料		学生健康増進 互助会費 学期毎	合計
	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
200,000	488,000 (入学時)	488,000	47,000 (入学時)	47,000	1,500	入学時 736,500 秋学期 536,500

【参考】2015年4月入学者の第2年度の学費明細

(単位:円)

年度	授業料		実験演習料		学生健康増進 互助会費、 学期毎	合計
	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
第2年度	491,000	491,000	48,000	48,000	1,500	春学期 540,500 秋学期 540,500

注意

- ※当学の学部、大学院、専攻科の卒業、修了または退学者が再度当学に入学者の場合、入学金が免除されます。
- ※実習演習料、諸会費は改定されることがあります。

一度提出した書類および納入した入学金(登録料)、学費・諸会費(第一期分)は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合や、入学までに入学資格を満たさなかった場合には、学費・諸会費(第一期分)のみ返還の対象となります。手続方法等、詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

奨学金制度

奨学金制度については、当学奨学課のホームページ <http://www.waseda.jp/syogakukin/index.html> を参照してください。

研究指導および担当教員

修士課程

研究指導	担当教員	授与学位
環境政策科学研究	教授 吉田徳久	学術
環境・新エネルギー研究	教授 工学博士 勝田正文	工学・学術
環境調和システム機器研究	教授 博士(工学)早大 関谷弘志	工学・学術
エネルギー・環境政策研究	教授 友成真一	学術
環境・エネルギーネットワーク研究	教授 中西要祐	工学・学術
環境・パワーシステム研究	教授 博士(工学)早大 草鹿 仁	工学・学術
環境・エクセルギー工学研究	教授 博士(工学)早大 中垣隆雄	工学・学術
環境システム評価研究	教授 博士(工学)早大 納富 信	工学・学術
環境・電気エネルギー研究	教授 博士(工学)早大 紙屋雄史	工学・学術
環境配慮エネルギー・循環システム研究	准教授 博士(工学)早大 小野田弘士	工学・学術
環境・エンジン制御研究 *1	兼任講師 福間 隆雄 *2 本学教授・上級研究員 教授 草鹿 仁	工学

*1 共同担当研究指導

*2 客員教員として担当

修士課程 研究指導内容

環境政策科学研究 吉田徳久

環境政策と環境科学を一体的にとらえ、21世紀の人類の最大の課題である「環境」を、よりよいものにし、持続的な社会を形成するための政策提案を行うことを目指す。企業や行政機関等を訪れて環境取組みの情報を収集し、意見交換を行い、持続可能な開発への道を阻んでいる現実的な状況を解き明かしていく。そこに、環境問題のデリカシーやジレンマが浮かび上がってくる。現状を単に否定するだけでは深刻な環境問題は解決しない。環境政策と環境科学のよりよいあり方について提案をしていく、それが研究テーマである。

環境・新エネルギー研究 勝田正文

世界的なエネルギー需要の拡大に伴う供給の逼迫および地球温暖化問題を背景に、多くのエネルギー関連研究プロジェクトが国内外で展開されている。本研究では、このような背景を直視して、「エネルギー資源と環境の制約」を視野に入れつつ、現状の生活や生産基盤を維持しながらエネルギー面における循環社会の構築を目指す。

本研究指導では、伝熱工学を基盤として省エネルギー、新エネルギー、再生可能エネルギーの高度化、高効率利用化を目標に、学生自身が課題の抽出から、研究計画、研究の実施、問題解決法の探索、研究の成果公表まで、一連のプロジェクトを体験し、修士論文計画の一助とする。各フェーズにおいて、環境へのインパクトを十分配慮することはもとより、評価法などにも言及し、目的とする成果を達成できるように助言・指導する。

環境調和システム機器研究 関谷弘志

地球環境問題やエネルギー問題への対応が急務とされる昨今、今後の持続的な人間社会の発展ならびに自然環境の維持・再生のためには、環境負荷低減に寄与する環境調和システム機器の研究開発が益々重要となっている。

本研究では、これらの諸問題の解決策の一助として、外燃式および自然冷媒を用いた高効率システム機器に着目し、その研究開発ならびに最適設計手法の構築を目指すとともに、省エネルギー・クリーンエネルギーに適した次世代分散発電、コージェネレーションおよび高性能冷凍空調への応用を試みる。また、同システム機器を核とする再生可能・未利用エネルギーの最適利活用についても研究を実施する。

本研究指導においては、環境調和システム機器に関する研究課題の抽出から一連の修士論文研究について助言・指導を行う。

エネルギー・環境政策研究 友成真一

エネルギー・環境問題は、広範な学問領域をカバーする、総合的な社会問題である。

エネルギー・環境問題を政策的に捉えようとする場合、表の論理と裏の論理を立て分けて整理する必要がある。

本研究指導では、エネルギー・環境政策の本質をえぐる目を養い、政策のもつ技術的、経済的、社会的、国際的、外交的側面に留意しつつ、各国にとって真に意味のあるエネルギー・環境政策を探求することを目的とする。

環境・エネルギーネットワークシステム研究 中西要祐

産業及び経済の持続的な発展のためには電力をはじめとするエネルギーネットワークシステムの形成が不可欠だが、これらは膨大なエネルギーの変換と輸送を伴うことから環境への影響も大きく、システムの効率化と環境保全対策の立案が重要課題である。ここでは、1. エネルギーの発生、輸送、配分、消費に係わるシステム技術、環境問題とその解決技術、2. 環境・エネルギーシステムの最適化、運用制御、経済及び環境影響評価、3. 構成要素の動特性モデリング及びシミュレーション解析といった工学的手段の習得を目的とする。

環境・パワーシステム研究 草鹿 仁

現代の環境問題の多くは燃焼に起因するものであり、近年では種々の環境汚染化学物質が注目されている。今後は、このような環境汚染化学物質の生成・分解過程の解明に対する要求はより一層高まるものと考えられる。このような状況をふまえ、主に内燃機関、エンジンシステムを対象に化学反応により支配される燃焼現象及び有害排出物質の生成・分解過程を扱う。さらに次世代のエネルギー変換システムである燃料電池とそれを応用したエンジンシステムについて研究する。

環境・エクセルギー工学研究 中垣隆雄

持続可能なエネルギー社会の実現には、温室効果ガスの削減に向けた技術開発が急務である。電気・熱・化学などの形態におけるそれぞれの長所・短所を生かした環境負荷の小さいエネルギーシステムの構築が極めて重要であり、本研究では以下のようなテーマを指導する。

- ・燃料電池やガスタービン、それらを組み合わせた複合サイクル、コージェネレーションシステムの研究
 - ・化学、電気化学的な中低温熱再生発電の研究
 - ・高温下における二酸化炭素分離隔離(CCS)技術と再生可能エネルギーとの組み合わせに関する研究
- 俯瞰的に技術を見渡せる視野を持ち、確かな学力に基づく課題発見、解決力のある人材育成を目指す。

環境システム評価研究 納富 信

21世紀は「環境の世紀」といわれ、人類が地球環境問題に本格的に取り組むべき時期とされており、様々な活動が展開されている。その背景には、地球システムの限界ということ境界条件として、工学的新技術や新たな社会システムの導入にあたり、現在から将来にわたる時間軸における影響度と社会全体に普及させた場合の効果をダイナミックに予測、定量化して、最適な選択肢を与える定量化評価手法が求められている。本研究指導では、各種の環境配慮型システムを評価するための分析手法を、具体的に学生が設定対象とした各種システムに適用することを通じて習得し、それを発展させかつ具体的な問題解決において用いることができるレベルまで上げることを目指す。並行して、環境・エネルギー分野に関する問題の解決に向けたOJT的な研究活動を展開し、机上の評価のみならず現物を対象とした問題解決のアプローチ(実験実証的)を試みることにする。

環境・電気エネルギー研究 紙屋雄史

近年、いわゆる環境・エネルギー問題が大きな話題となっており、自動車メーカーに対してはクリーンな動力源を搭載した自動車の開発が求められている。内燃機関代替自動車に対しては、(1)車両や燃料に関して、製造から走行までのエネルギー消費と二酸化炭素や有害エミッションの排出が少ない事、(2)燃料の持続的供給が可能で供給施設が広く整備される可能性がある事、等が求められるが、ここではこれら条件を十分に満足できる可能性を秘めている電動車両(電気自動車BEV、ハイブリッド自動車HEV、燃料電池自動車FCV)をテーマとした研究指導を行う。

環境配慮エネルギー・循環システム研究 小野田弘士

いまや循環型社会や低炭素社会の構築は世界的課題となっている。本研究では、こうした課題の解決に向けた新たな技術や先進的な社会システムを研究・開発するとともに、政策手段や評価手法も検討対象とし、さらにはその普及促進のためのビジネスモデルの構築や社会システムの試行等、実証的研究を行う。LCA(Life Cycle Assessment)、3R、環境配慮製品・サービス、創エネルギー・省エネルギー、次世代型モビリティシステム等をキーワードとした産学官民連携型のプロジェクトに従事し、企画・提案書の作成から研究展開・プロジェクトマネジメント、成果のプレゼンテーション・報告書の作成まで、遂行できる能力を育成する。さらに、株式会社の設立方法やNPOの設立・運営に関するノウハウも指導することで、学生の起業家マインドの醸成に寄与する指導も展開する。

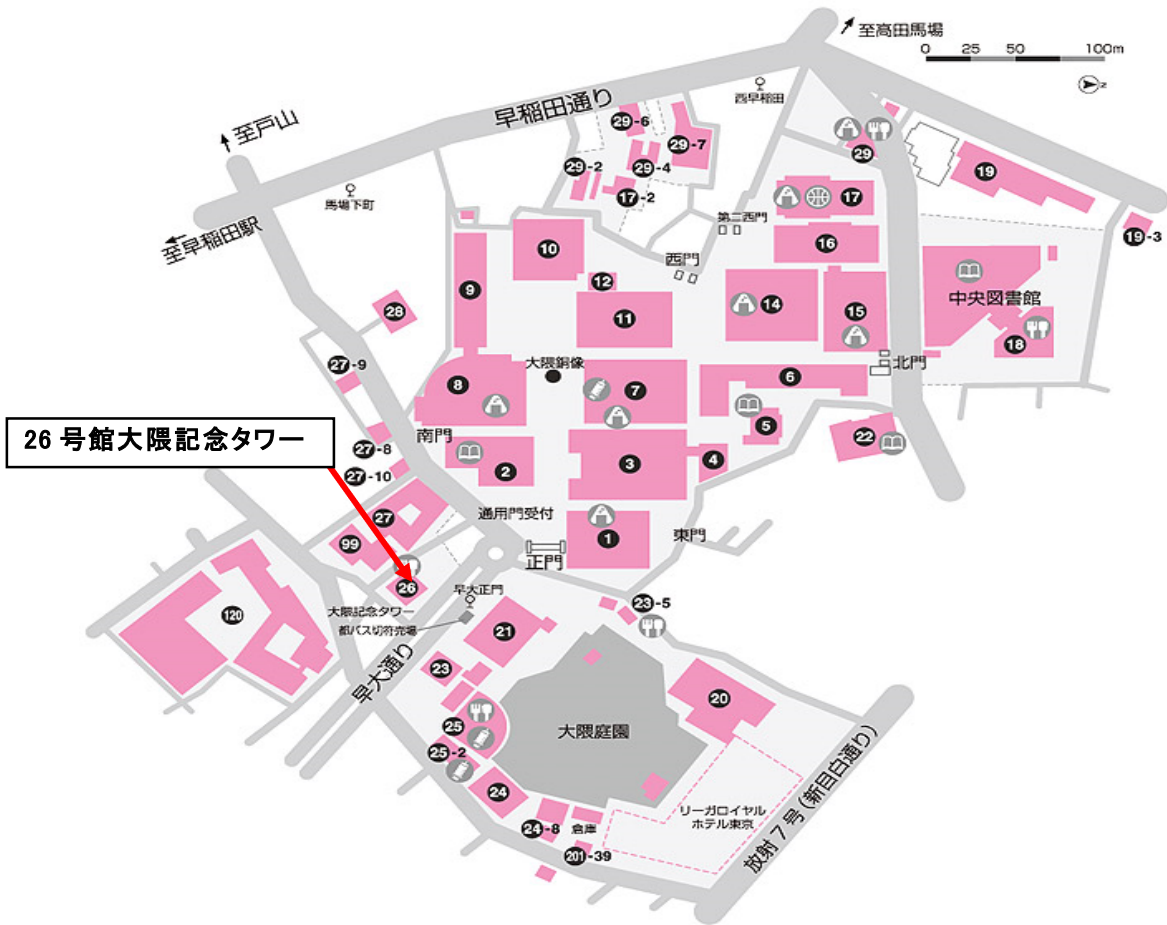
環境・エンジン制御研究 福間 隆雄・草鹿 仁

本研究指導では、自動車用エンジンの吸気系、燃焼システム、排出ガス浄化触媒の機能を最大限に発揮するための制御手法を研究する。このため、構成要素をモデル化し、統合モデルを構築するとともに、同モデルを用いて各種運転パラメーターがエンジンの動力性能、排気性能に及ぼす影響因子を詳細に調査する。また、運転パラメータの最適制御手法についても検討を行う。このように机上で検討された制御手法を実機において検証し、モデルの修正をしながら高精度の予測モデルを構築することで突破力のある開発エンジニアを養成する。

試験場案内

早稲田キャンパス

- ◇ JR山手線 (高田馬場駅 徒歩20分)
- 西武新宿線 (高田馬場駅 徒歩20分)
- ◇ 東京メトロ (早稲田駅 徒歩5分)
- ◇ スクールバス (高田馬場駅 - 早大正門)
- ◇ バス (新宿駅西口 - 早稲田)
- (渋谷駅 - 早大正門)
- (上野広小路 - 早稲田)
- ◇ 都電 (三ノ輪橋駅 - 早稲田駅 徒歩5分)



早稲田大学入学試験受験に際しての注意事項

早稲田大学

早稲田大学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。

早稲田大学入学試験の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

◆不正行為について

1. 出願の際に当学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為となることがあります。

2. 試験において次のことをすると不正行為となることがあります。

- ①カンニングをすること(試験時間中にカンニングペーパー・参考書等を隠し持つ・使用する、他の受験者の答案等を見る、他の人から答えを教わるなど)。
- ②筆記試験において、使用を認められていない物品を使用すること。
- ③筆記試験において、「試験開始です。」の指示の前に、問題冊子・解答用紙に触れること(冊子を開く、解答を始める、裏面・余白などに書き込みを行うなど)。
- ④筆記試験において、「試験終了です。筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにしてください。」の指示に従わず、筆記用具を持っていたり解答を続けたりすること。
- ⑤試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利するような行為をすること。
- ⑥試験時間中に携帯電話を身に付けること、使用すること。
- ⑦試験時間中に携帯電話や時計の音(着信・アラーム・振動音など)を鳴らすこと。
- ⑧試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑨試験場において試験監督員等の指示に従わないこと。
- ⑩志願者以外のものが志願者本人になりすまして試験を受けること。
- ⑪その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

3. 不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。

- ・試験監督員等が注意をする、または事情を聴くこと。
- ・別室での受験を求めること。

4. 不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。

- ・当該年度における当学の全ての入学試験の受験を認めないこと(入学検定料は返還しない)。
- ・当該年度における当学の全ての入学試験の結果を無効とすること。

◆受験環境について

可能な限り公平・静粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。

- ①生活騒音(航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話等の鳴動など)が発生した場合でも、原則として特別な措置は行ないません。
- ②試験中に携帯電話や時計等などの音・振動などが発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、持ち主の同意なく監督員が試験場外に持ち出し、鳴動を停止させ、試験本部で保管することがあります。
- ③机、椅子、空調、音響設備等の試験教室による違いは一切考慮しません。
- ④他の受験者が迷惑と感じる行為がある場合、別室受験を求めることがあります。

◆不可抗力による事故等について

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等や交通機関の乱れが発生した場合、試験開始時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

以上

早稲田大学大学院

環境・エネルギー研究科 入試係

〒367-0035

埼玉県本庄市西富田1011

TEL 0495-24-6480,

E-mail weee-ent@list.waseda.jp

〈事務取扱時間:月～土 9時～17時〉

お問い合わせ・連絡は、E-mailでお願いいたします。